

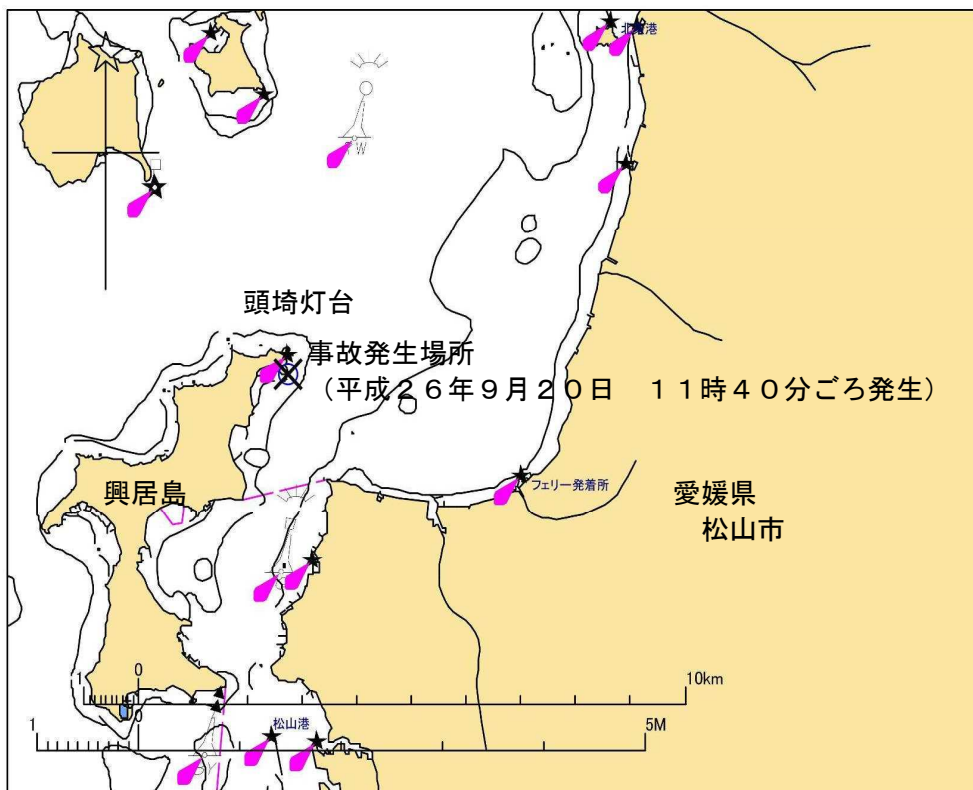
船舶事故調査報告書

平成28年1月14日
 運輸安全委員会（海事専門部会）議決
 委員 庄 司 邦 昭（部会長）
 委員 小須田 敏
 委員 根 本 美 奈

事故種類	乗揚
発生日時	平成26年9月20日 11時40分ごろ
発生場所	愛媛県松山市興居島北東岸 頭埼灯台から真方位183°400m付近 （概位 北緯33°55.4′ 東経132°42.1′）
事故の概要	プレジャーボート平成丸は、走錨して浅瀬に乗り揚げた。 平成丸は、右舷側船底に破口を生じた。
事故調査の経過	平成26年10月7日、本事故の調査を担当する主管調査官（広島事務所）ほか1人の地方事故調査官を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。
事実情報 船種船名、総トン数 船舶番号、船舶所有者等 L×B×D、船質 機関、出力、進水等	プレジャーボート 平成丸、5トン未満 281-33962愛媛、個人所有 5.74m (Lr) × 2.03m × 0.57m、FRP ガソリン機関、18.40kW、不詳
乗組員等に関する情報	船長 男性 68歳 二級小型船舶操縦士・特殊小型船舶操縦士・特定 免許登録日 平成6年11月29日 免許証交付日 平成25年12月12日 （平成31年11月28日まで有効）
死傷者等	なし
損傷	右舷側船底に破口
気象・海象	気象：天気 曇り、風向 北西、風力 1、視界 良好 海象：潮汐 下げ潮の末期、潮流 南西流約2.5ノット
事故の経過	本船は、船長が1人で乗り組み、共有の船舶所有者（以下「同乗者」という。）を乗せ、船首約0.2m、船尾約0.6mの喫水で、平成26年9月20日11時30分ごろ、興居島北東岸から約50m沖の釣り場に着き、錨泊して釣りをを行うこととした。 本船は、同乗者が重さ約6kgの四爪錨を船首から投入して長さ約30mの錨索のほとんどを伸出し、船首が東方に向いた状態で錨泊を始めた。 本船は、船長が左舷船尾部で、同乗者が左舷中央部でそれぞれ座り、共に左舷方の海面を見ながら釣りの準備を行っていたところ、1

	<p>1時40分ごろ、船首が北東方に向いた状態で興居島北東岸の浅瀬に乗り揚げた。</p> <p>船長は、乗り揚げたことに気付き、同乗者と共に船外に出て本船を離礁させようとしたが、離礁させることができなかったため、海上保安庁に本事故の発生を通報した。</p> <p>本船は、本事故発生場所付近にいた漁船により引き出され、愛媛県松山市の造船所の船舶にえい航されて松山市松山港の係留地に戻った。</p> <p>(付図1 事故発生場所概略図(1)、付図2 事故発生場所概略図(2) 参照)</p>
<p>その他の事項</p>	<p>同乗者は、長年本船を操縦しており、錨泊して釣りをすることも多々あった。</p> <p>船長及び同乗者は、投錨場所の底質が砂で所々に岩があったことを知っていたが、錨の効き具合については知らなかった。</p> <p>船長は、これまでに興居島北東岸沖で投錨したことがなかったが、船長が友人から同場所で釣果が良かったことを聞いていたので、投錨して釣りをすることとした。</p> <p>船長は、投錨して約1分後に浅瀬に乗り揚げたと思った。</p> <p>船長及び同乗者は、浅瀬に乗り揚げて初めて走錨したことを知り、錨が効いていなかったことが分かった。</p> <p>船長及び同乗者は、いずれも救命胴衣を着用していた。</p>
<p>分析</p> <p>乗組員等の関与</p> <p>船体・機関等の関与</p> <p>気象・海象等の関与</p> <p>判明した事項の解析</p>	<p>あり</p> <p>なし</p> <p>あり</p> <p>本船は、興居島北東岸沖の釣り場に投錨する際、船長が、投錨予定場所付近での錨の効き具合、潮流の影響等を調査していなかったことから、投錨直後から潮流の影響を受けて走錨し、興居島北東岸の浅瀬に乗り揚げたものと考えられる。</p> <p>船長は、友人から興居島北東岸沖で釣果が良かったことを聞いていたことから、興居島北東岸沖に投錨したものと考えられる。</p>
<p>原因</p>	<p>本事故は、本船が、興居島北東岸沖の釣り場に投錨する際、船長が、投錨予定場所付近での錨の効き具合、潮流の影響等を調査していなかったため、投錨直後から潮流の影響を受けて走錨し、興居島北東岸の浅瀬に乗り揚げたことにより発生したものと考えられる。</p>
<p>参考</p>	<p>今後の同種事故等の再発防止に役立つ事項として、次のことが考えられる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 錨地を選定する際は、潮流及び底質の確認を行っておくこと。 ・ 走錨を早期に検知できるよう、陸上物標の見通し線など、物標の見え具合が、投錨時と比べて変わっていないか、注意すること。

付図1 事故発生場所概略図(1)



付図2 事故発生場所概略図(2)

